

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和6年5月27日

事業所名:ことばとあたま・体のリハ室2(タッチ)

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	3		1	収納の工夫+ 整理整頓	どうしても限られたスペースではありますが、安全と整理整頓を心掛けていきます。整理整頓と収納の工夫で一層の有効活用を目指します。
	2	職員の配置数は適切である	3		1		ゆとりを持ち安全な療育、送迎、運転に努めます
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている		2	2	時間にゆとりを持って行動を心掛ける。スタッフ同伴で昇降する	外階段あり(10段×2) 簡易型手すり設置済。海側であり強雨や強風時はさらに注意を要する
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	2	1	1		課題などの洗い出しなど業務の効率化を図れるよう修正していきます
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	3		1		
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	2	1	1		欠席時の回覧方法の工夫、周知を図っていきます
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	3		1		
適切な 支援の 提供	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	3		1		回覧や研修情報の告知を早めに行えるよう努めていきます
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	3		1		WISC、S-M社会生活能力検査、より客観的な指標の構築と理解向上に努めていきます
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	3		1		PVT-RやWISC、S-M社会生活能力検査、各種アセスメントより客観的な指標と理解向上に努めていきます
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	3	1			欠席など全員の一致を得ないこともありますが、回覧などで保育面と療育面の説明~周知を図れる様に工夫して参ります
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	3		1	朝や昼MTGなど	児童の課題や目標を話し合いながらプログラムを設定するように
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	3		1		まだ不十分な点もあり、常にセルフチェックを行ってまいります。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	3		1		まだ不十分な点もあり、常にセルフチェックを行ってまいります。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	3	1		朝や昼MTGなど	研鑽を重ねながら、よりよい支援を実践して参ります
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	2	2		朝や昼MTGなど	研鑽を重ねながら、よりよい支援を実践して参ります
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	3		1		
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	3		1			
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	3		1			

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関係機関 や保護者との 連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者 会議にその子どもの状況に精通した最もふ さわしい者が参画している	3		1		
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等 の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連 絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の 連絡)を適切に行っている	3		1		
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場 合は、子どもの主治医等と連絡体制を整え ている				対象児童なし	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認 定こども園、児童発達支援事業所等との間 で情報共有と相互理解に努めている	3		1		
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業 所から障害福祉サービス事業所等へ移行 する場合、それまでの支援内容等の情報を 提供する等している	3		1		対応や伝達方法を工夫 (移行支援という公式な形ではないが)訪問 時や会議の場で相談や支援方法の助言指 導を行い共有化を図っています。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援セ ンター等の専門機関と連携し、助言や研修 を受けている	3		1		周知方法の改善 勉強会や症例検討など他事業所との交流を 今後、増やしていきたいと考えています
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障 がいのない子どもと活動する機会がある	2	1	1		地域交流はまだ不足しています。継続 課題です。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加 している	3		1		まだ十分とは言えません。継続課題
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合 い、子どもの発達の状況や課題について共 通理解を持っている	3		1		SNSや電話、ご自宅訪問等を通じて現状の 目標と課題点を確認、情報を共有化を図っ ています
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保 護者に対してペアレント・トレーニング等の支 援を行っている	3		1		業務外とならない範囲で、ペアレントレー ニングなども今後、展開していきたいと考 えています	
保護者への 説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等につ いて丁寧な説明を行っている	3		1		
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相 談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っ ている	3		1		
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等 を開催する等により、保護者同士の連携を 支援している	2	1	1		保護者の会なども今後、展開していきたい と考えています
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応 の体制を整備するとともに、子どもや保護者 に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適 切に対応している	3		1		迅速に対応するためにも役割分担等を行っ て効率化を図りたいと考えています。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事 予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者 に対して発信している	2		2		広報としてではないが、メール等で活動報告 を行っています。活動予定や会報なども今 後、展開していきたいと考えています
	35	個人情報に十分注意している	3		1	ホワイトボードの位 置、遮光カーテン、 目隠しの工夫	SNS掲載の了承など今後も十分配慮しなが ら、活動写真など情報発信して参ります
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎 通や情報伝達のための配慮をしている	3		1		
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等 地域に開かれた事業運営を図っている	1	1	2		感染症に留意しながら、今後、展開してい きたいと考えている部分です。

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
非常時等の 対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	2	1	1	マニュアル改訂と配布	避難訓練の話合いや実施・経路や集合方法とFBを図っていきます
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	2	1	1		避難訓練の話合いや実施・経路や集合方法とFBを図っていきます
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	3			研修と伝達会	欠席時の回覧や周知方法の改善を図っていきます
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	3			MTGでの内容検討と議事の伝達	○勉強会や研修会 資質の向上 ○参加頻度向上 ○他事業所と合同で虐待抑制予防委員会の参加・勉強会伝達
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	3				支援計画やインテーク情報の周知と伝達を工夫していきます
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	3				